

総務教育常任委員会資料

(令和5年7月21日)

(件 名)

ページ

とっとり若者活躍局のメンバー募集について

【新時代・SDGs推進課】・・・2

全国知事会等の活動状況について

【総合統括課】・・・4

全米知事会議への参加結果について

【総合統括課】・・・8

原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金に係る地域振興計画(案)
の概要について

【総合統括課】・・・9

うさぎダンスプロジェクトの実施について

【広報課】・・・11

「第2次鳥取県女性活躍推進計画の改訂案」に係るパブリックコメントの実施結果に
ついて

【女性活躍推進課】・・・12

令和新時代創造本部

とっとり若者活躍局のメンバー募集について

令和5年7月21日
新時代・SDGs推進課

とっとり若者活躍局の発足に向けて、「鳥取をもっとおもしろくしたい」「暮らしやすい鳥取にしたい」「全国に鳥取の魅力を知らせたい」など、情熱とエネルギーのある若者を募集しています。

記

1 とっとり若者活躍局の概要

(1) 目的

鳥取県内において若者がチャレンジできる機運を醸成し、若者が主体となった地域づくり、並びに次世代の地域の担い手となる人づくりを目的とする。

(2) 活動内容

若者の自発的なアイデアで活動を企画・事業化するとともに、出会い・子育てや移住定住などをテーマとして、地域の若者の意見を聴き、政策提案を実施します。

(具体的な活動例)

- ・ 出会い、子育て、移住定住に関連したプロジェクトの企画・実施、地域への参画
- ・ 地域の若者との交流会や県幹部との意見交換会の開催
- ・ 地域・暮らしの魅力や地域で活躍する若者の発掘、若者視点での県内外への情報発信 等

2 メンバー募集の概要

(1) 応募資格

次の要件を満たす者

- ・ 県内在住または県内で活動している(通勤・通学含む)高校生以上39歳以下の者
- ・ 月1回の定例会議に参加することが可能な者(リモート参加も可)

(2) 応募方法

「とっとり電子申請サービス」のWEB申込フォームまたは所定の応募様式により、必要事項を記載した書類を提出する。

(3) 応募に当たっての留意事項

応募者の氏名、生年月日、住所、所属名、連絡先、応募理由(活動したい内容)、現在行っている地域活動等を記載することとする。

(4) 応募期間

令和5年7月3日(月)から令和5年7月31日(月)まで

(5) 募集人数

15名程度

(6) 応募書類提出先

鳥取県令和新時代創造本部政策戦略監 新時代・SDGs推進課

(7) 応募者の決定・決定後の手続き

- ・ 応募書類を審査し、必要に応じて面接を実施のうえ、決定する。
- ・ 選考結果については、応募された方全員に郵送により連絡する。

参考 今後のスケジュール(予定)

- | | |
|--------|--|
| 8月上旬 | 応募者への通知
メンバーの任命及び「とっとり若者活躍局」発足式 |
| 8月中旬以降 | 第1回定例会議(活動内容の決定、プロジェクトチーム結成)
各プロジェクトの開始 |

「とっとり若者活躍局」 メンバー募集！！

誰もができない経験が、ここにある
創りだせ！キミのとっとり

「とっとり若者活躍局」ってなに？

「鳥取をもっとおもしろくしたい！」「もっとこんなイベントあったら、鳥取が元気になるのに」「何かにチャレンジしたい！」「若い人が暮らしやすい鳥取にしたい！」「全国に鳥取の良さを知らせたい！」など、情熱とエネルギーあふれる若者の目線で幅広く活動する、鳥取県に新たな風を吹かせるグループです。

活動内容は？

メンバーは月1回の定例会議に参加するほか、他のメンバーと共に、自発的なアイデアでの活動を企画・事業化するとともに、若者の意見を聴き、政策提案を実施していただく予定です。

※応募要領は裏面をご覧ください [応募締切 7月31日(月)]

詳しくはこちら



受付事務局

鳥取県令和新時代創造本部政策戦略監 新時代・SDGs 推進課
〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 TEL 0857-26-7644 MAIL sdfs@pref.tottori.lg.jp

全国知事会等の活動状況について

令和5年7月21日

総合統括課

7月24日から3日間にわたって山梨県で開催される全国知事会議に向けて、各種本部・委員会を開催し、国への提言内容案をとりまとめたほか、全国知事会のパートナー団体との連携活動の一環として、日本経済団体連合会等の経済団体と「地域を舞台に挑戦する人材を育てる」共同宣言を発表した。

更に、国が本年秋までをめどとしたマイナンバー制度の運用に関する総点検の実施を表明したことを受け、速やかに具体的な作業スケジュール等を明示することや地方自治体の負担が生じないよう配慮することなどを求めた。

このほか、関西広域連合委員会において、広域的な課題について意見交換を行った。

1 全国知事会関係

(1) 全国知事会各種本部・委員会への出席

- ・日時等 ・令和5年6月28日(水)危機管理・防災特別委員会
- ・令和5年6月30日(金)コロナを乗り越える新たな地方創生・日本創生本部
- ・令和5年7月7日(金) 地方税財政常任委員会
- ・令和5年7月7日(金) 総合戦略特別委員会
- ・出席者 平井知事 ほか関係知事等
- ・内容 全国知事会議(7/24~3日間予定)に向けて、国への提言内容等を検討した。

(2) その他の全国知事会関係

マイナンバー総点検に係る河野デジタル担当大臣への要請

- ・日時 令和5年7月6日(木) 11:30~11:50
- ・出席者 平井知事、村岡山口県知事
- ・内容 国において、本年秋までをめどに、マイナンバーに関する手続等について、紐付けの正確性確保に向けた総点検を実施するとしていることについて、速やかに全体の具体的な作業スケジュール等を明らかにすることや地方自治体の負担が生じないよう十分配慮することなどを全国知事会として求めた。【マイナンバーによる情報連携の正確性確保に向けた総点検の実施にあたって(別紙参照)】

全国知事会と経済5団体との共同宣言発表式

- ・日時 令和5年7月20日(木) 16:00~17:00
- ・出席者 日本経済団体連合会 永井副会長、日本商工会議所 福田副会長、経済同友会 山下副代表幹事
全国商工会連合会 塩田専務理事、全国中小企業団体中央会 佐藤専務理事
平井知事、村井宮城県知事、達増岩手県知事、湯崎広島県知事、齋藤兵庫県知事
- ・内容 全国知事会のパートナー団体との連携活動の一環として、経済団体と「地域を舞台に挑戦する人材を育てる」という共通の目標を確認し、共同宣言を発表した。【「地域を舞台に挑戦する人材を育てる」共同宣言(別紙参照)】

2 各府県との連携

第156回関西広域連合委員会

- ・日時 令和5年7月20日(木) 11:10~11:50(場所:大阪府立国際会議場)
- ・出席者 亀井副知事、三日月滋賀県知事、西脇京都府知事、吉村大阪府知事、齋藤兵庫県知事、山下奈良県知事、永藤堺市長、志田徳島県副知事、坂越京都市副市長、山本大阪市副市長、小原神戸市副市長 ほか
- ・内容 令和4年度決算及び令和5年度8月補正予算の概要が報告されたほか、関西広域連合への奈良県全部参加に向けた議論等が行われた。

マイナンバーによる情報連携の正確性確保に向けた 総点検の実施にあたって

マイナンバーと各種制度における固有番号との紐付け誤りが生じていることから、国においては、「マイナンバー情報総点検本部」を設置し、本年秋までをめどに、マイナポータルで閲覧可能な情報を有する全ての制度等について、紐付けの正確性確保に向けた総点検を実施するとしている。

具体的には、関係省庁から紐付け実施機関に対し、現状の紐付け方法の確認を行うとともに、その確認結果を踏まえ、全データの点検、誤紐付けの修正、情報漏洩の有無に関する調査などを実施し、結果の公表を求めるとしている。

デジタル社会の実現に向けては、その基盤となるマイナンバー制度に対する国民の信頼、理解を得ることが非常に重要であることから、国と地方が一体となった取組が必要である。総点検の実施の必要性については、全国知事会としても理解するところであるが、業務を担う地方自治体の負担を鑑み、現場の声を丁寧に聞きながら、点検を進めていただきたい。

については、国が実施する総点検に関して、全国知事会として、下記のとおり要請する。

記

- 1 速やかに全体の具体的な作業工程やスケジュール等を明らかにすること。
- 2 地方自治体が実施する点検作業への適切な支援を行うとともに、当該業務に係る費用も含め、地方自治体の負担が生じないよう、十分配慮すること。
- 3 総点検の円滑な推進に向けて、地方との意見交換を丁寧に行うなど、現場の声に寄り添いながら実施すること。

令和5年7月6日

全国知事会会長

鳥取県知事 平井 伸治

全国知事会デジタル社会推進本部長

山口県知事 村岡 嗣政

「地域を舞台に挑戦する人材を育てる」共同宣言

地方創生の力強い原動力は、地域を担う多様な人々による挑戦である。今日においては、デジタル化の急速な進展に伴い、働き方・暮らし方に対する価値観が大きく変化し、あらゆる地域が挑戦の舞台となる可能性がますます広がっている。

地域のステークホルダーが協働し、あらゆる地域を個々人の多様な挑戦の場に変革していく LX（ローカル・トランスフォーメーション）の進展の先に、多様性を持った分散型社会が実現される。そして、地域で創出されるイノベーションの結合が日本の持続可能な成長の推進力につながっていく。

我々は、こうした理念を共有し、多様なリソースを持ち寄り、結びつけることで、あらゆる地域を舞台に挑戦する人材の育成に協働して取り組んでいく。

1 起業家を育てる

果敢に起業を志す人を育て、活躍できる環境を整備することで、起業活動を活発化させるとともに、地域内外から多様な人々を惹きつけ、更なる起業を生み出すエコシステムの創出を目指す。

そのために、各地域の特性に応じた起業家教育とともに、大学発ベンチャー・スタートアップの創出、起業経験者や経営者等の多様な人材による成長段階に応じた支援や投資家・事業会社等とのマッチング機会の提供等の推進を図る。

2 後継者を育てる

自己変革に挑戦する中小企業等の経営者・中核人材の後継者を育成・確保し、各企業の強みを生かした新規事業の展開や事業活動の継続・発展を支えていくことで、付加価値の向上を通じた持続的な成長と生活に不可欠なサービスが安定的に供給される地域社会の実現を目指す。

そのために、円滑な事業承継と承継後の事業継続や事業拡大・経営革新を後押しするとともに、若者等と企業の就業マッチングや副業・兼業、働き方改革の推進等による人材確保と、価値ある技術・技能の継承による人材育成の推進を図る。

3 デジタル人材を育てる

デジタルを活用して経営革新や現場での事業実施ができる人材を育成し、幅広い層でのデジタルリテラシー習得に取り組むことで、新たな仕事の創出や生産性の更なる向上、時間や場所に制約されない働き方が可能な社会の構築を目指す。

そのために、デジタル人材が活躍しやすい環境を整備するとともに、企業ニーズに沿った組織内部におけるリスキリング等の推進や、離職者のデジタルスキル習得支援、失敗を許容し試行錯誤をしながらデジタル実装と人材育成を目指すデジタル実証・実装事業への継続的な投資、学生等に対するリテラシー教育を推進していく。これと並行して、副業・兼業の推進等により、デジタル人材が不足する地域への人材の流れの創出を図る。

4 挑戦を後押しする基盤を整備する

上述した人材の育成とその活躍を図るには、基盤となる仕組み作りや支援体制の構築が必要である。政府においては、デジタル・トランスフォーメーション（DX）やグリーン・トランスフォーメーション（GX）等の成長産業・分野や生活に不可欠な分野への円滑な労働移動に向けたリスキリングや雇用のセーフティネットの再整備を組み合わせる政策の検討を求める。

また、中小企業や協同組合等の伴走役である商工団体における経営指導員等の確保・育成等の体制強化について、商工団体との緊密な連携のもと、都道府県による各地域の実情を踏まえた効果的な取組の促進と政府による支援の充実を目指していく。

令和5年7月20日

日本経済団体連合会	日本商工会議所	経済同友会
全国商工会連合会	全国中小企業団体中央会	全国知事会

全米知事会議への参加結果について

令和5年7月21日
総合統括課

かねてより日本から両国知事会の交流再開を呼び掛けてきた結果、7月12日（現地時間）から米国アトランティック・シティ（ニュージャージー州）で開催された全米知事会の最大行事であるサマーミーティングに、招待を受け、全国知事会を代表して平井伸治鳥取県知事（全国知事会長）と伊原木隆太岡山県知事（同会副会長、総合戦略特別委員長）が出席し、日米知事会の交流を再開しました。

全米知事会議

全米50州とグアム、プエルトリコ島などの5知事を含む55人の知事により構成・運営される超党派の全国組織（全米知事会）が開催する全体会議。毎年、夏と冬に年2回開催され、今回は7月12～14日の3日間にわたり開催された。

1 今回訪米における日米間の知事会交流の概要

オープニングレセプションでは、参加者を前に全米知事会のフィル・マーフィー前会長（ニュージャージー州知事）より、全米知事会の重要なパートナーとして平井知事・伊原木知事が紹介され、両知事が会場に挨拶する機会が設けられた。

スペンサー・コックス新会長（ユタ州知事）、ジャレド・ポリス新副会長（コロラド州知事）、マーフィー当時会長など全米知事会幹部をはじめとする13人もの知事と個別に意見を交わし、日米の知事会交流の重要性と今後の交流促進について強く訴え賛同を得た。

さらに、コックス新会長及びポリス新副会長との間では、当面の日米間における知事会交流について、日本の全国知事会へのオンライン参加の可能性も含めて協議を行った。

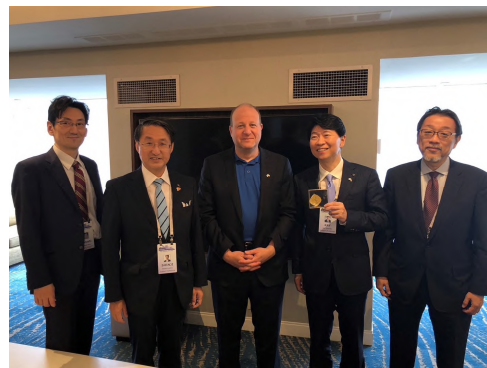
< 意見交換した各州知事 >

フィル・マーフィー知事（ニュージャージー州）
スペンサー・コックス知事（ユタ州）
ジャレド・ポリス知事（コロラド州）
ケイティ・ホップス知事（アリゾナ州）
ジョン・C・カーニー知事（デラウェア州）
ジョシュ・グリーン知事（ハワイ州）
ジャネット・ミルズ知事（メイン州）

ティム・ワルツ知事（ミネソタ州）
キャシー・ハウクル知事（ニューヨーク州）
ロイ・クーパー知事（ノースカロライナ州）
ケヴィン・スティット知事（オクラホマ州）
ジョシュ・シャピロ知事（ペンシルバニア州）
トニー・エバーズ知事（ウィスコンシン州）



コックス新会長（右から2番目）との面談



ポリス新副会長（中央）との面談

2 今後の予定

- (1) 7月24日から開催される全国知事会議における全米知事会コックス新会長、ポリス新副会長等のオンライン参加について調整中である。
- (2) 引き続き、日米の知事会間の関係がより強固なものとなるよう、今後とも、全国知事会として全米知事会等と協議・調整を進めていく。

原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金に係る地域振興計画（案）の概要について

令和5年7月21日
政策戦略監総合統括課

「原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金」の活用事業について、米子・境港市からの提案に基づき、両市と詳細を詰め、地域振興計画案を策定しました。

今後、国の審査委員会での計画の審議にむけて、国、両市とともに調整を図っていきます。

1 地域振興計画（案）の概要

(1) 事業地域

境港市、米子市

(2) 事業期間

令和5年度～7年度（3か年）

(3) 交付総額

5億円

(4) 事業内容

原子力防災対策・避難計画の実効性の向上に資するとともに、地域振興にも寄与する「一時集結所かつ地域コミュニティ拠点の環境・機能改善」と「一時集結所かつ地域コミュニティ拠点へのアクセス維持・向上」に係る取組を事業地域において実施する。

実施地域	実施事業名	事業主体	交付金充当額
境港市	【一時集結所かつ地域コミュニティ拠点の環境・機能改善】		2.5億円
	境港市公民館環境整備事業	境港市	
	県立高校環境整備事業	鳥取県	
	【一時集結所かつ地域コミュニティ拠点へのアクセス維持・向上】		
	施設・道路等多用途安全確保機械導入事業	境港市	
	県管理道等整備事業(境港市域)	鳥取県	
米子市	【一時集結所かつ地域コミュニティ拠点の環境・機能改善】		2.5億円
	米子市公民館環境整備事業	米子市	
	【一時集結所かつ地域コミュニティ拠点へのアクセス維持・向上】		
	県管理道等整備事業(米子市域)	鳥取県	
合計			5.0億円

2 今後のスケジュール案

令和5年秋 国の審査委員会で計画の審議 経済産業大臣認可

令和5年事業の国への交付申請

令和5年冬以降 国からの交付決定 事業実施

別紙 事業の基本計画及び内容

実施地域	実施事業	概要
境港市	境港市公民館環境整備事業 (境港市)	一時集結所、避難所であり、地域コミュニティの核に位置付ける公民館について、施設の利便性向上を図る整備を行い、地域住民が快適で安心して、積極的に利用できる環境を作ることで、住民相互の連携・協働の促進に繋げる。 内容 4公民館(中浜(別棟集会所を含む)、渡、余子、外江) 空調設計(個別空調化)、トイレ改修(男女別・多目的・洋式化・ドライ化) 実施期間 令和6年度
	施設・道路等多用途安全確保機械導入事業 (境港市)	地震、豪雪などの有事において、公民館や県立高校を住民の拠点として確実に機能させるため、新たにホイールローダーの配備を行い、これら施設へのアクセスを確保する体制を整える。 内容 ホイールローダーの購入 実施期間 令和6年度
	県立高校環境整備事業 (鳥取県)	一時集結所であり、地域内外から生徒が集まる県立高校について、施設の利便性・魅力向上や老朽化対策を図り、生徒や地域住民が快適に安心して利用できる環境を作ることで、学校、家庭、地域の連携の拠点とし、協働体制による地域づくりの推進を図る。 内容 市内県立高校2校(境、境港総合技術) 空調改修(境高校特別教室棟のエアコン更新・新設)、 トイレ改修(境高校特別教室棟及び境港総合技術高校教室・海洋・福祉棟の洋式化、ドライ化) 実施期間 令和5年度～令和6年度
	県管理道等整備事業 (鳥取県)	本県住民における移動手段の重要なインフラである県管理道路について、重点的かつ早期に整備を行い、拠点へのアクセス向上、円滑化を図る。 内容 舗装補修 1路線(県道米子境港線)、L=517m 実施期間 令和6年度～令和7年度
米子市	米子市公民館環境整備事業 (米子市)	一時集結所、避難所であり、地域コミュニティの拠点に位置付ける公民館について、施設の利便性向上を図る整備を行い、地域住民が快適で安心して、積極的に利用できる環境を作ることで、住民相互の交流の活性化に繋げる。 内容 8公民館(大篠津、崎津、和田、富益、彦名、夜見、河崎、住吉) バリアフリー化(スロープ設置)、空調改修、トイレ改修(便器和洋改修)、オストメイト、アスベスト分析・処分、畳張替え 実施期間 令和6年度～令和7年度
	県管理道等整備事業 (鳥取県)	本県住民における移動手段の重要なインフラである県管理道路について、重点的かつ早期に整備を行い、拠点へのアクセス向上、円滑化を図る。 内容 舗装補修 3路線(県道米子境港線、県道両三柳後藤停車場線、国道431号)、L=1,639m 実施期間 令和6年度～令和7年度

うさぎダンスプロジェクトの実施について

令和5年7月21日
広 報 課

「兎の聖地・鳥取県」の認知度向上や誘客を図るため、本県オリジナルのうさぎダンスを開発し、その魅力を全国・世界へ発信・普及する「うさぎダンスプロジェクト」を展開していきます。

1 とっとり白うさぎダンサーズによる盛り上げ

県庁若手職員で結成した「とっとり白うさぎダンサーズ」がうさぎダンスのPR等を通じて、「うさぎダンスプロジェクト」を盛り上げる。

(1) 構成 県庁若手職員有志 10名 (7月21日時点)

(2) 活動状況

- ・オリジナルうさぎダンスを開発
- ・白兎神社にてうさぎダンス初公開及び奉納 (7月7日)
- ・TikTok、YouTubeで拡散 (7月19日～)
- ・情報発信イベントでPR (予定)



7/7 笑顔でダンスを披露
「とっとり白うさぎダンサーズ」

2 うさぎダンス動画コンテスト「兎取(とっとり)ダンス動画ピョンテスト」の開催

SNSでのうさぎダンス動画の投稿や拡散を促し、うさぎダンスプロジェクトを盛り上げていくため、うさぎダンス動画コンテストを開催する。

(1) 募集概要

ア 募集期間 令和5年7月19日から8月31日まで

イ 応募資格 TikTok又はYouTubeアカウントを持つかた

ウ 募集内容 とっとり白うさぎダンサーズが踊る見本ダンスを真似て踊った動画
オリジナルのうさぎダンスを踊った動画

エ 応募方法 TikTok又はYouTubeに「#鳥取うさぎダンス」をつけて投稿

(2) 選考方法

- ・募集作品から優秀10作品程度を決定
- ・優秀者10組を招いた決勝大会「うさぎダンス・ファイナル」を開催し、最優秀者を決定 (決勝大会は、令和5年10月頃、白兎海岸周辺にて開催予定)

「第2次鳥取県女性活躍推進計画の改訂案」に係るパブリックコメントの実施結果について

令和5年7月21日
女性活躍推進課

このたび「第2次鳥取県女性活躍推進計画」を改訂するに当たり、パブリックコメントを実施しました。

今回頂いたご意見や女学生活躍とっとり会議等の意見を踏まえ、7月下旬に公表予定の令和4年度就業構造基本調査（総務省）の結果を反映の上、7月中をめどに計画改訂を行う予定です。

- 1 募集期間
令和5年6月28日（水）から7月10日（月）まで
- 2 受付意見数
19件（8名）
- 3 主な意見と対応方針

意見概要	対応方針
小学校1年の壁問題解決に向けて、以下の内容を計画に盛り込むべき <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの充足率の向上 ・企業等の時短勤務対象年齢を小学校までに（特に低学年） 	<u>改訂案に盛り込み済み。</u> 放課後児童クラブ等の施設整備や運営継続を行う市町村等への支援や、時短勤務対象の拡大を含め、仕事と家庭の両立に向けた就業規則の整備を行う企業への支援を実施することとしている。
女性管理職登用促進に向けて、以下の内容を計画に盛り込むべき <ul style="list-style-type: none"> ・社内でのメンター制度の推進 ・異業種交流会の促進 	<u>改訂案に盛り込み済み。</u> 社内メンター制度等企業のモデル的な取組の横展開を図っていくことや、女性従業員間のネットワークづくりのイベント等を開催することとしている。
2030年に85%という男性育休の取得目標を設定し、取得期間は少なくとも1週間以上を推奨するのは、高い目標だがとても良い目標。	<u>改訂案に盛り込み済み。</u>
更年期障がいとは男女とも問題であるため、男女共通の更年期障がいについての正しい知識普及をお願いしたい。	<u>改訂案に盛り込み済み。</u> 計画記載の更年期障がいに係る取組は、男女共通の課題として正しい知識の普及や相談窓口の整備等に取り組むことを想定している。
県の責務（P4）について、「女性活躍に対する職場、地域、家庭の理解を深め」とあるが、対象に「学校」も追加すべきではないか。	<u>改訂案に新たに反映。</u> 学校における普及啓発等は重要であるため、対象に「学校」を追記する。 <追加修正箇所> 5（1）県の責務 県は女性活躍に関する普及啓発等を行い、女性活躍に対する職場、地域、 <u>学校</u> 、家庭の理解を深め、機運醸成を図ります。
施策とその効果、実績（数値目標と達成度とその評価、分析）のみの一覧表を入れてほしい。どんな課題に対しどんな目標を設定し、どんな施策を行い、どういった効果が得られたのか、改定素案さえ読めば県民がレビューできるような形だと読みやすいと思う。	<u>別途措置済み。</u> 計画の公開と併せて毎年度の実績を公表しており、計画へは計画策定時又は改訂時の目標に対する直近値を記載している。